



日ごろ、高齢者の見守り及び相談窓口の周知にご協力いただきありがとうございます。今号では、9月の世界アルツハイマー月間にあわせ、認知症の種類や認知症が疑われるサインについてご紹介いたします。

認知症にも種類がある？

認知症は、脳の病気や障害など様々な原因により、認知機能が低下し、日常生活全般に支障が出てくる状態をいいます。種類によって、症状の出方に違いがあります。

◆アルツハイマー型認知症

認知症の中で最も多く、脳の一部分が縮んでいく過程でおきる認知症です。もの忘れで発症することが多く、ゆっくりと進行します。

◆脳血管性認知症

脳梗塞や脳出血などの脳血管障害による認知症、障害された脳の部位によって症状が異なります。一部の認知機能は保たれている「まだら認知症」が特徴です。

◆レビー小体型認知症

現実には見えないものが見える幻視や、手足が震えたり歩幅が小刻みになって転びやすくなる症状(パーキンソン症状)があらわれます。

◆前頭側頭型認知症

スムーズに言葉が出てこない・言い間違いが多い、感情の抑制がきかなくなる、社会のルールを守れなくなるといった症状があらわれます

認知症が疑われるサイン

- ・同じことを言ったり、聞いたりする。
 - ・物の名前が出てこなくなった。
 - ・置き忘れやしまい忘れが目立ってきた。
 - ・以前はあった関心や興味が失われた。
 - ・だらしなくなった。
 - ・日課をしなくなった。
 - ・複雑なテレビドラマが理解できない。
 - ・時間や場所の感覚が不確かになった。
 - ・慣れた所で道に迷った
 - ・財布などを盗まれたという。
 - ・ささいなことで怒りっぽくなった。
 - ・蛇口、ガス栓の閉め忘れ、火の用心ができなくなった。
 - ・夜中に急に起きだして騒いだ
- (国立長寿医療研究センターで使われているチェックリストより)

認知症は、早めの受診と、家族や周りの理解が重要です。上記のサインはあくまでも目安であり、認知症の診断をするものではありませんが、3つ以上あてはまる場合には、かかりつけ医や地域包括支援センターへの相談をお勧めしています。様子の心配な方がいましたら、相談窓口（けやき窓口・あかつち窓口）へご連絡ください。



菊川市地域包括支援センター

けやき窓口

住所：半済1865（プラザけやき内）

電話：37-1120

あかつち窓口

住所：赤土1055-1（家庭医療センター内）

電話：73-1818